

2025年8月29日

ミアヘルサ保育園

ゆらりん高輪

看護師 徳田

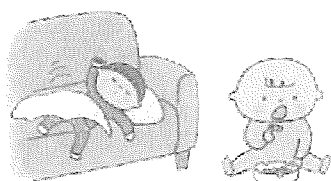
暑い夏を元気に過ごした子どもたちは、家族で過ごした夏の思い出を楽しそうに話してくれています。まだまだ暑さは残っていますが、朝夕は少しずつ涼しいと感じる日が増えてきましたね。夏の疲れで子どもたちは体調を崩しやすい時期です。早寝早起き朝ごはんを継続し、毎日を元気に過ごしましょう。

家の中の事故を防ぎましょう！！

家の中で起こる事故で特に命にかかわるのが窒息で、0歳児が圧倒的に多いです。1歳からは、転ぶ・落ちることでの救急搬送が5～6割を占めます。（東京消防庁救急搬送データより）家の中が安全かチェックしてみましょう。

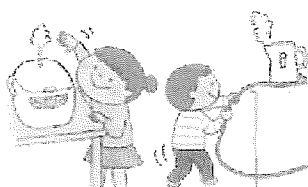
リビングなど

ソファやベッドから落ちたり、たばこや玩具を飲み込んだりという事故がよくあります。



キッチン

炊飯器や電気ポットなど、調理器具によるやけどが多い場所。



ボタン電池、たばこ、薬など危険なものは、手の届かない場所に保管しましょう。



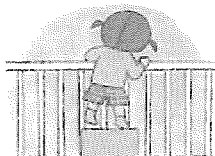
お風呂

残り湯に落ちる、入浴中に少し目を離したすきに溺れるなど、の危険があります。



ベランダ

台などに上がって手すりを超える事故が、3歳以降急増します。室外機は手すりから60cm以上離します。



子供の手の届く範囲は「台の高さ+手の届く範囲」

1歳児：約90cm
2歳児：約110cm
3歳児：約120cm

とびひが増える季節です！

台風が発生する時期に意外と多くみられるのがとびひです。湿度が高く、汗をかきやすいことが原因といわれています。あせもや虫刺されなどの湿疹を掻き壊し傷口からばい菌が入り込んで1か所だけでなく、体のあちこちに飛んでしまいます。

【主な症状】

- ・皮膚に小指のつめくらいの水ぼうがができる
- ・強いかゆみがある
- ・水ぶくれや、赤くじゅくじゅくした、ただれた状態になる

【家庭での手当て】

- ・じゅくじゅくした部分はガーゼで覆う。皮膚科で処方された薬があれば塗ってから、ガーゼで覆う。
- ・お風呂では湯船につからず、シャワーで洗い清潔に保つ。
- ・湯上がりはこすらずふき取り、薬を塗る。
- ・かきこわしてしまわないように爪を短く切る。

患部が乾燥すれば、うつる心配はありません。じゅくじゅくしていたらガーゼで覆いましょう！

伝染性膿痂疹（とびひ）と診断された場合、登園される際にはB書類（保護者が記入する）が必要となります。

9月からは、暑さ指数に応じて戸外活動を行う機会が増えます。各ご家庭でお子様にあった虫よけ対策をして登園のご協力よろしくお願い致します。

医療証の更新のお願い

10月から新しい医療証に更新されます。10月に向けて徐々に港区よりご自宅に新しい医療証が届くと思いますので、新しい医療証が届きましたら保育園にコピーの提出のご協力をお願い致します。

また、保険証が新しくなった場合も提出のご協力をお願い致します。マイナ保険証に変更になった際は、マイナポータルに表示される被保険者資格情報をプリントしたもの、または健康保険証資格情報のお知らせのコピーの提出のご協力をお願い致します。

保健行事予定

<健康診断>

◎0・1歳児：8日（月） 14：30～

◎0・2歳児：22日（月） 14：30～

<身体測定>

◎0歳児：12日（金）

◎1歳児：11日（木）

◎2歳児：10日（水）

◎3歳児：9日（火）

◎4・5歳児：8日（月）

